Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：人文研ゼミ　ことばの歴史・言語学の歴史 ILAS Seminar :History of Languages, History of Linguistics	**Instructor's name, job title, and department of affiliation**	Institute for Research in Humanities Associate Professor,ITOU JUNJI		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	**Number of credits**	2	**Number of weekly time blocks**	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	**Year/semesters**	2025・First semester	**Quota (Freshman)**	12 (12)
Target year	1st year students	**Eligible students**	For all majors	**Days and periods**	Tue.5
Classroom	Seminar room 1 (room 101), Institute for Research in Humanities Main Bldg. (Main Campus)			**Language of instruction**	Japanese
Keyword	言語学 / 歴史学 / 認知科学 / 哲学				

[Overview and purpose of the course]

なぜ我々(多くの現代人)は、殺人事件があったとき「AがBを銃で殺した」「Bが殺された」と言うのでしょう。殺人犯が分からないこともあります。「(Aの発砲で)Bが死んだ」で充分ではないでしょうか。実際にそれに近い言い回しをする言語もあります。問題は、文の上で殺人者に注目するか、死んだ人がいるということのほうに注目するかです。

「情報社会」ということばが使われるよりはるか以前から、言語は人間の社会と文化にとって重要な課題でした。言語の研究は西欧では植民地の拡大、世界観の革新と並行してすすみ、認識論の変化をも促しました。

今年度は、前半はジョージア語の初歩的文法を紹介します。ジョージアを含むコーカサス地方はおおよそ19世紀前半にロシア領となり、言語学的調査が進みました。印欧語とはきわめて異質なジョージア語やチェチェン語などのコーカサス諸語の研究からは、「内容的類型学」など、弱い言語決定論といえるような思考が生まれています。それらを踏まえて後半は自由に議論を展開していきたいと思います。

[Course objectives]

言語の重要性、物事の歴史的あるいは構造的把握の重要性を理解する。
多人数向け報告の基礎的知識と基本技法を習得する。

[Course schedule and contents)]

1．イントロダクション：日本語でも英語でもなく
2．ジョージア史概説
3．ジョージア語文法学習
4. ジョージア語文法学習
5．ジョージア語文法学習
6．ジョージア語文法学習
7．ジョージア語文法学習
8．ロシア・ソ連の言語学
9．自由報告
10. 自由報告

Continue to ILASセミナー：人文研ゼミ　ことばの歴史・言語学の歴史(2)↓↓↓

ILASセミナー ：人文研ゼミ　ことばの歴史・言語学の歴史(2)

11. 自由報告
12. 自由報告
13. 自由報告
14. 自由報告
15. フィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

一人２回の報告(40ｘ2),および平常点(20)
「平常点」は単なる出席ではなく、授業中の議論への参加度を考慮します。

[Textbooks]

児島康宏 『ニューエクスプレスプラス　グルジア語』（白水社）ISBN:9784560088333
言語学史等の文献については、適宜紹介・貸与します。

[Study outside of class (preparation and review)]

報告者は授業前に報告を準備する。
他の受講者も事前に教科書等からおおまかな報告内容を予期し、質問等を考えておく。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]